

希望の鐘

第184号

ひとつのつぼみはいちどしかひらかない

令和3年度の学校経営方針、教育・努力目標、学校目標等をお知らせします。4月に行われた参観日でもお伝えしましたが、学校目標がまだ決まっておられませんでしたので、ここでお知らせいたします。学校目標とは、簡単に言いますと「ここが弱いので、これを克服できればもっと生徒が伸びていくだろう」という部分で、昨年度の学校評価アンケートや教育課程編成会議での話し合いの内容から考えたものです。子どもたちのよりよい成長のため、安全・安心を最優先するとともに、保護者や地域の方々と協力しながら教育活動を進めてまいりたいと思います。

1 経営の基底

学校は生徒が安心して生活できる場、そして、安全に過ごせる場でなければならない。間違ってもいじめや体罰の問題を背景に、その命を絶つ事案が発生してはならない。いじめ、体罰等の課題への対応を徹底し、生徒たちの安全、安心を確保しなければならない。また、新型コロナウイルスの流行やスマホ、パソコン等の間違った使用方法による情報の流失等、現代社会では生徒は常に危険と隣り合わせの状態にあるといっても過言ではない。

安心して生活できる学校とは、一日の大半を過ごす学校がホッとする空間、生徒一人一人の存在が大切にされる空間となっていることである。それは、生徒同士が信頼の絆で結ばれ、互いに信頼し合い、所属意識が高い学校の姿である。このような学校をつくるためには、すべての教育活動において、生徒指導の三機能（自己決定の場を与える、自己存在感を与える、共感的人間関係の育成）を生かした教育を行うことが重要であると考えられる。それは、生徒同士、生徒と教師との共感関係を育み、生徒一人一人の居場所や活躍の場の存在につながり、ひいては自己有用感、自己肯定感の高揚となる。

安全に過ごせる学校とは、安全対策と危機管理が行き届いた学校である。年間で計画されている避難訓練や安全教室、防犯教室等で規則を守り、安全に行動できる態度や自らが危険を予測し、回避する力をもった生徒を育成しなければならない。また、小中野地区は海に面しているため津波の被害にあうことも十分に考えられる。避難所運営訓練等を通して、日頃から地域社会や家庭と連携を図り、自他の生命を守り、地域の安全に貢献する態度を有する生徒を育むことも必要である。

安心・安全な学校とは、イコール幸せな学校ともいえる。生徒にとって幸せとは、何より教師に恵まれることであると考えられる。生徒を我が子のように指導、対応する教師がいる。そんな学校でありたい。小中野中学校全教職員は安心・安全で、「命」を大切に一生懸命生きる生徒の育成に全力であたる。

2 基本方針

青森県教育委員会及び八戸市教育委員会の方針と重点を踏まえ、全教職員が協調と責任をもって学校運営に参画し、教育目標と努力目標の具現化、そして学校目標の達成に努めることとする。また、先に述べた生徒の生命を守り、安心・安全のもと、一人一人の生徒が夢と希望を抱きながら自立し、社会に貢献できる人材を育成したいと考える。発達段階を考慮しつつ、知・徳・体の調和のとれた「心豊かで、確かな学力を身につけた、生活力のあるたくましい生徒」の育成に努めたい。また、情報通信技術の進歩、グローバル化の中、自ら学び、考え、判断し、行動する力、すなわち、多様化する社会を生き抜く力も養わせたい。このことは、新学習指導要領で示された「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力など」、「学びに向かう力、人間性など」の育成にもつながり、ひいては本校の教育目標である「しなやかに たくましく 生き抜く生徒」に結びつくと考えられる。

「生徒が学校の主人公である」という認識のもと、個を生かし生きる力を育ませるためにも、次の3つの「がっこう」を基本概念とし、積極的に教育目標の具現化を図っていききたい。

学校～確かな学力を身につけさせる場として～
 楽校～心を耕し、より良い人間関係を構築する場として～
 合校～家庭や地域の願いを反映させる場として～

3 教育目標

- (1) 校訓 ひとつのつぼみはいちどしかひらかない
- (2) 教育目標 しなやかに たくましく 生き抜く生徒（平成26年度設定）
- (3) 努力目標
 - 志をもって、自ら学ぼう（知）
 - 心豊かに互いを大切にしよう（徳）
 - 粘り強く心身を鍛えよう（体）（平成26年度一部改訂）

4 令和3年度 学校目標「自己肯定感を基盤に、主体的に物事に取り組む生徒の育成」 〈重点施策〉

- ① 生徒一人一人の明確な目標設定と、その達成感のための意欲向上を図る指導の充実
 - ② 生徒指導の3機能（自己決定の場を与える、自己存在感を与える、共感的な人間関係の育成）を生かした自己肯定感及び相互信頼関係の構築。
 - ③ 「こなノート」、「自学ノート」を活用しての、学習に対する主体的取組の奨励。
 - ④ 学校行事等を活用しての責任とやりがい、達成感、成就感の育成。
- 〈評価基準〉 学校評価アンケートを実施し、その結果から達成状況を把握する。
- ① 目標達成に向け努力しているという評価を80%以上とする。
 - ② 「自己有用感」「自己肯定感」の評価を80%以上とする。
 - ③ 「こなノートの活用」、「授業が分かる」という評価を80%以上とする。
 - ④ 学校行事に関わる肯定的評価を80%以上とする。

令和3年度スタッフ紹介

校長	〇〇〇〇	社会
教頭	〇〇〇〇	国語
教務主任	〇〇〇〇	技術
1年主任	〇〇〇〇	理科
1組（副主任）	〇〇〇〇	数学・家庭科
2組	〇〇〇〇	保体
2年主任	〇〇〇〇	社会
副主任	〇〇〇〇	英語
		（研修主任）
1組	〇〇〇〇	数学
		（生徒指導主事）
3年主任	〇〇〇〇	国語
		（進路指導主事）
1組（副主任）	〇〇〇〇	英語・美術
2組	〇〇〇〇	理科
3組	〇〇〇〇	音楽
養護教諭	〇〇〇〇	
事務主事	〇〇〇〇	
技能主事	〇〇〇〇	
P T A 事務	〇〇〇〇	
給食配膳員	〇〇〇〇	
A L T	〇〇〇〇	
特別支援アシスタント	〇〇〇〇	
非常勤講師	〇〇〇〇	
スクールカウンセラー	〇〇〇〇	
○部活動		
野球部	〇〇〇〇	〇〇〇〇
ソフトテニス部	〇〇〇〇	
剣道部	〇〇〇〇	
バレーボール部	〇〇〇〇	〇〇〇〇
卓球部	〇〇〇〇	〇〇〇〇
吹奏楽部	〇〇〇〇	〇〇〇〇
報道部	〇〇〇〇	

春季大会結果報告

- 青森県中学校春季剣道選手権大会
 4月17日（土）
 マエダアリーナ
 女子
 1回戦 小中野中 2 - 1 青森西中
 2回戦 1 - 2 弘前東中
- 八戸市中学校春季野球大会
 4月24日（土）、25日（日）、29日（木）
 長根球場他
 1回戦 小中野中 7 - 0 白銀南中
 （6回コールド）
 2回戦 3 - 2 第三中
 3回戦 3 - 2 根城中
 （延長8回 タイブレイク）
 準決勝 2 - 6 白山台中
 代表決定戦 0 - 4 長者中
- 八戸市中学校バレーボール春季大会
 4月24日（土）、25日（日）
 東体育館
 男子 優勝
 予選リーグ
 小中野中 2 - 1 根城中
 2 - 0 大館中
 決勝トーナメント
 準決勝 小中野中 2 - 0 下長中
 決勝 2 - 0 湊中
 女子
 1回戦 小中野中 1 - 2 第一中